

「コーケンネオプレス (スピーチタイプ/複管タイプ)」の付属品 内筒

再使用禁止

【警告】**

- 1) 本品を呼吸回路等と接続する場合は、確実に接続されていること(リーク、閉塞、接続が緩いなどの問題がないこと等)を確認すること。[接続が不完全な場合、換気障害等を引き起こすおそれがあるため。] なお、詳細は【使用上の注意】[重要な基本的注意]の7)を参照のこと。
- 2) 本品を介して高濃度酸素を投与している場合は、本品の使用部位の近傍でレーザーメスや電気メスを原則として使用しないこと。[酸素中では突然発火したり、発火による気道熱傷等のおそれや有毒ガス発生のおそれがあるため。]

【禁忌・禁止】**

【併用医療機器】**

- ・ 本品をノーマンエルボー・タイプ(コネクタ内部のガス供給用内筒が患者方向に突出した形状)のコネクタに接続しないこと。なお、詳細は【使用上の注意】の【相互作用(他の医薬品・医療機器等との併用に関する事)】を参照のこと。

【使用方法】**

- 1) 再使用禁止
- 2) 吸気や呼気を妨げるもの(栓や発声バルブなど)を取り付けないこと。[呼吸困難になるため。]

【形状・構造及び原理等】*

本品は、「コーケンネオプレス(スピーチタイプ)」または「コーケンネオプレス(複管タイプ)」専用の付属品である。必ずこれらの本体と組み合わせて使用する。



製品番号と規格

製品番号	ネオプレス本体のサイズ [外径(短径)]	内径
#3281	8 mm	5 mm
#3282	9 mm	5.5 mm
#3283	10 mm	6.5 mm
#3284	11 mm	7 mm
#3285	12 mm	7.5 mm
#3286	13 mm	8.5 mm

【使用目的又は効果】*

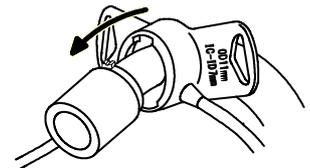
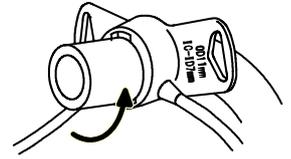
本品は「コーケンネオプレス(スピーチタイプ)」または「コーケンネオプレス(複管タイプ)」内筒の専用交換用部品であり、取り出した内筒を速やかに本品に交換する。気管切開後に切開口から気管に挿入し、気道確保及び切開口を維持する。

【使用方法等】

A.【内筒のはずしかた】

- 1) 挿管している「コーケンネオプレス(スピーチタイプ)/(複管)」内筒内側の痰などを吸引する。
- 2) フレームを持ち反時計回りに約90°内筒の15Mアダプターを回しロックをはずす。
- 3) フレームを持ち内筒だけ引き抜く。

約90°回し、ロック解除



B.【内筒の装着のしかた】

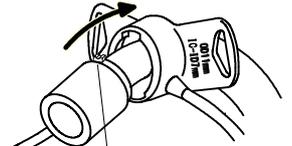
- 1) 外筒内側の痰などを吸引する。

＜注意＞

- ・ 内筒を再挿入する際には、必ず、直前にコーケンネオプレス本体内側の痰などを吸引すること。[コーケンネオプレス本体内側に付着した分泌物等を気管内に落としてしまうおそれがあるため。]

- 2) フレームを持ち本品のツメを挿管されているコーケンネオプレス本体の溝に合わせて差し込む。内筒のツメの位置を外筒に合わせて、最後まで差し込む。

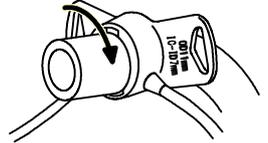
ツメを溝に合わせて差し込む



ツメ(2カ所)

- 3) 時計回りに約90°、カチリと手応えのあるところまで回しロックする。

約90°回し、ロックする



- 4) 患者の換気状態を観察する。
- 5) 以降は、「コーケンネオプレス(スピーチタイプ)/(複管タイプ)」の添付文書の使用方法に従って行う。

【使用上の注意】**

【重要な基本的注意】**

- 1) 小児や意識障害患者、認知症患者等、意思表示の困難な患者に使用する場合には、気道閉塞の発見が遅れるおそれがあるため、厳重に観察すること。
- 2) 人工呼吸器による厳密な呼吸管理が必要な患者には使用しないこと。[本品とコーケンネオプレス(スピーチタイプ)/(複管タイプ)の外筒との間には微小な隙間があり、吸気ガスが上気道に漏れるため。]
- 3) 内筒内側の分泌物の凝固を最小限にし、気管粘膜の損傷を防ぐため、患者の気道を適切に加湿すること。
- 4) 内筒内側に付着した分泌物等による閉塞を防ぐため、適宜、吸引を行うこと。
- 5) 吸引操作後にカフ内圧及び呼吸管理状態が適切であることを確認すること。
- 6) 本品に呼吸回路等を接続する場合には、本品に過剰な力がかからないように注意すること。[本品の気管からの逸脱、呼吸回路との接続外れ、本品又は呼吸回路の閉塞等の原因となるため。]
- 7) カフチューブ及びインジケータカフを引っ張らないこと。[故障又はリークの原因となるため。]

- 8) 患者の状態、局所の変化並びに本品の汚れ等の状態に応じて、新品と交換すること。
- 9) 開封後、何らかの事情で直ちに使用しない場合には、廃棄すること。
- 10) 本品は「コーケンネオブレス」スピーチタイプまたは複管タイプ（承認番号：20900BZZ00099000）と組み合わせて使用すること。〔これ以外の組み合わせ、あるいは単体使用では機能しないため。〕

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

【製造販売元】**
株式会社 高研
TEL 03-3816-3500

【製造元】
株式会社 高研

【相互作用(他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)】**

1) 併用禁忌 (併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ノーマンエルボー・タイプ（コネクタ内部のガス供給用内筒が患者方向に突出した形状）のコネクタを有する医療機器	本品と接続しないこと。	本品を閉塞させ、肺の過膨張や換気不能を発生させるおそれがある。

2) 併用注意 (併用に注意すること)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
レーザー治療器 電気手術器	本品を介して高濃度酸素を投与している場合は、本品の使用部位の近傍でレーザー治療器（レーザーメス）や電気手術器（電気メス）を原則として使用しないこと。	酸素中でレーザー治療器（レーザーメス）・電気手術器（電気メス）を使用すると、突然発火したり、発火による気道熱傷等のおそれや有毒ガス発生のおそれがある。

【不具合・有害事象】**

本品の使用中に次の事象が起こることがある。使用期間中は十分な観察を行い、このような場合には本品の使用を中止し、適切な処置を行うこと。

1) 重大な不具合

穴、折れ、切断、破裂、外れ、潰れ、事故抜去、狭窄、詰まり、漏れ、異所留置、誤接続

2) その他の不具合

キズ、剥離、異物混入、拡張不能、収縮不能、抜去不能、緩み、捻れ、凹み

3) 重大な有害事象

肺炎、換気不全、呼吸不全、壊死、穿孔、気道閉塞

4) その他の有害事象

発赤、炎症、感染、発熱、喉頭狭窄、誤嚥、呼吸困難、潰瘍、出血、損傷、咳、痛み、痒み、気道狭窄、気道粘膜の虚血、喘鳴、肉芽形成、癬痕形成、びらん

【その他の注意】**

院外で本品を使用する際、医療従事者は本品の取扱者に必ず安全な使用方法と操作方法の説明を行うこと。

【保管方法及び有効期間等】**

【有効期間】**

3年 [自己認証 (当社データ) による。]